

「サンゴの村宣言」プロジェクト ～世界一サンゴにやさしい村～^⑤ 屋嘉田潟原保全活動 第3弾



1月30日、恩納村地域農業振興推進連絡協議会（以下、農振協）が地域の環境保全について学ぶため、農家をはじめ恩納小学校6年生と山田小学校5年生を対象にした環境学習を開催しました。

ふれあい体験学習センターを主会場に、NPO法人おきなわグリーンネットワークから赤土流出に関する講座や恩納村漁協からサンゴ養殖の取組に関する講話が行われました。また、琉球放送「南の島のミスワリン」の撮影も併せて行われました。3代目ミスワリンの木寺莉菜さんによる活動紹介やクイズ大会などがあり大盛況のなか閉会しました。

本活動は、農振協が沖縄県環境保全課の赤土等流出防止活動支援事業として沖縄県の支援を受けて実施しました。



環境学習



子どもたちと関係者の皆さん



ミスワリンの木寺莉菜さん

3/5 サンゴの日「サンゴの村宣言」キックオフイベントの開催!!

村は、豊かな自然環境の保全と育成を目的に、7月に開催される第35回うんなまつりにおいて、「サンゴの村」を宣言することとしています。

そのキックオフイベント（出発式）を右記の日程で行います。

★詳細は村ホームページをご覧ください。

日程

9:00	サンゴ苗植え付け、オニヒトデ除去 海中清掃（山田区久良波海岸沖）
9:30	グリーンベルト植え付け （山田区農地）
10:00	ビーチクリーン （久良波海岸）
13:30	「サンゴの村宣言」出発式 （博物館2階展示ホール）

お問い合わせ：企画課 ☎966-1201

恩納100 むらのきおく その八十九



ウキ

かつて使用されていたウキは竹で作られていました。錘（おもり）のついた網（あみ）の両端に長いひもで結び、海面に浮かせます。竹の代わりに杉の木で作られたウキもありましたが、ガラスが手に入りやすくなると中に空気を入れて中空にし、浮きやすくしたガラス玉を網に入れて使うようになりました。現在では発泡スチロール製やプラスチック製のウキが使用されています。